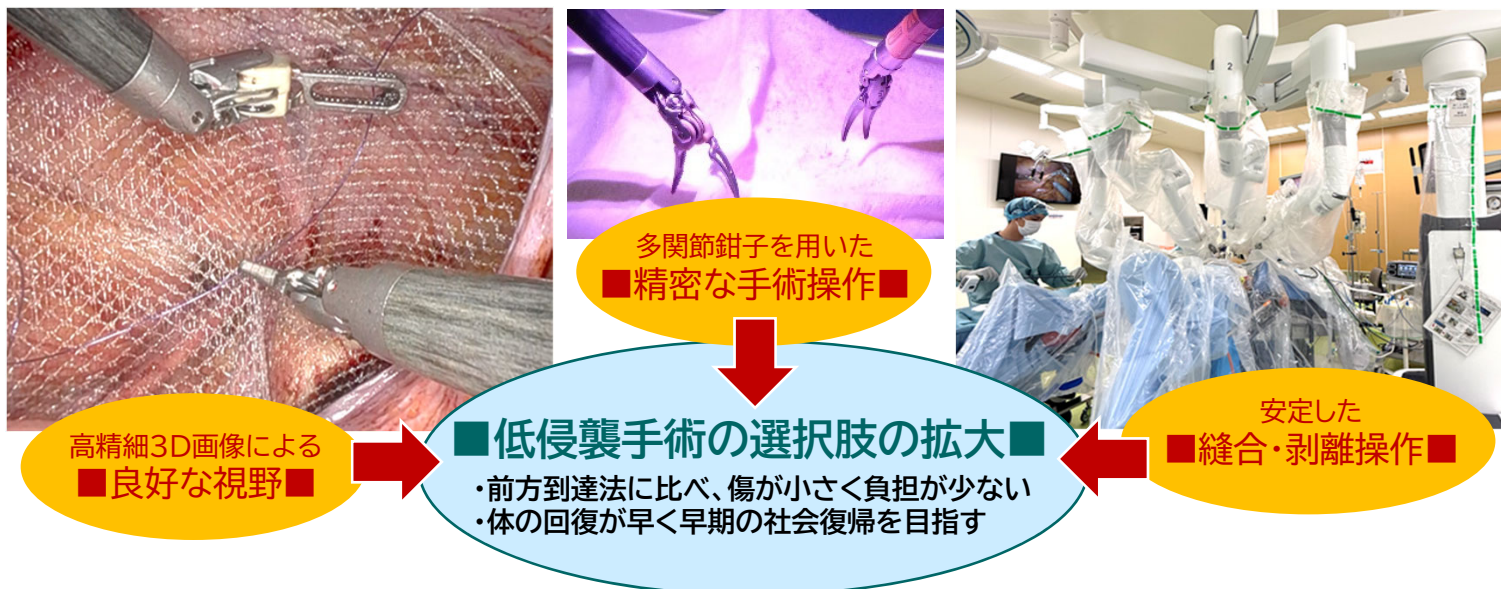


ロボット支援下鼠径ヘルニア修復術 (R-TAPP)

❖ロボット支援手術(R-TAPP)とは？

内視鏡と手術支援ロボットを用いて行う低侵襲手術で、高精細な3D画像を見ながら、手術器具を精密に操作できます。



2026年6月、**ロボット支援下鼠径ヘルニア修復術(R-TAPP)**が保険収載され、当院でも本術式を導入しました。鼠径ヘルニアに対する**腹腔鏡下手術(TAPP)**は、術後疼痛が少なく、解剖学的視認性に優れた標準的術式として広く普及しています。一方で、鉗子の可動域には制限があり、精密な剥離や縫合には高度な技術を要します。

R-TAPPでは、高精細3D画像と多関節鉗子を用いることで、より繊細で安定した操作が可能となり、術者の操作性向上が期待されます。

当院では2014年より、**腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術(TAPP)**を導入し、これまで1000例以上の手術を経験してきました。さらに2022年からは大腸癌に対するロボット支援手術を開始しており、その経験を生かして、**R-TAPP**を導入しました。患者さんの病態や生活背景を考慮し、下記から最適な術式をご提案いたします。

1 ロボット支援手術 (R-TAPP)

- ❖ 高精細な3D画像
- ❖ 多関節鉗子による操作
- ❖ 手ぶれ補正
- ❖ 腹腔鏡の低侵襲性+精密操作

2 腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術(TAPP)

- ❖ 低侵襲手術
- ❖ 鼠径部を内側から広く確認
- ❖ 標準的術式として広く普及している

3 前方到達法

- ❖ 確立された術式
- ❖ 腹腔内に入らない
- ❖ 再発例などでも重要な選択肢

今後も安全性を最優先に、患者様一人ひとりに最適な治療を提供できるよう、努めてまいります。

鼠径ヘルニアが疑われる患者さんがおられましたら、お気軽にご紹介ください。

予約方法

FAX 予約 専用FAX **047-712-2573** (受付時間 平日 8:30~17:00)

WEB 予約 (事前登録必要) <https://reservation.form.medigle.jp/Matsudo/login> (24時間受付)

電話 予約 (患者専用) 専用電話 **047-712-0685** (受付時間 平日 8:30~17:00)

WEB予約

